

全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会 2025 年度事業報告

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

1 総会

(1) 第 20 回総会

2025 年度の総会は 6 月 26 日(木) 13 時 30 分～14 時 40 分に対面とオンラインのハイブリッドにて開催した。オンラインでの参加者は議決権が無効となるため、審議事項のみ 6 月 4 日(水)～6 月 20 日(金)の期間に文書審議により実施した。正会員 70 会員のうち、過半数を超える 66 会員からの回答を得られ、2024 年度の事業報告、収支決算報告、役員の改選、2025 年度の事業計画及び収支予算が承認された。

(主な議案) 第 1 号議案 2024 年度事業報告

第 2 号議案 2024 年度収支決算及び監査報告

第 3 号議案 役員の改選

第 4 号議案 2025 年度事業計画

第 5 号議案 2025 年度収支予算

その他報告事項等

(主な結果) 各号議案別に、意見及び質問の確認をした上で採決し、それぞれ提案のとおり承認された。

※ 本内容は、6 月 26 日(木)のハイブリッド総会でも結果報告し、会員へ電子メールでの通知とともにホームページ上で公開した。

2 幹事会

(1) 第 49 回：4 月 15 日(火) 13 時 00 分～15 時 00 分(オンライン)

総会に提出する 2024 年度の事業報告・収支決算、役員の改選、2025 年度の事業計画・収支予算を中心に議論し、第 20 回総会の開催方法については、対面とオンラインのハイブリッド開催とし、審議事項については事前文書審議とすることに決定した。その他表彰募集、国の動向、他団体との連携や意見交換について検討した。

(2) 第 50 回：8 月 29 日(金) 9 時 00 分～12 時 00 分(オンライン)

第 50 回幹事会は、2025 年度の第 2 回品質確認制度運用委員会との合同会議として開催した。BDF の品質や燃料規格に関する検討の他、軽油引取税の暫定税率廃止の動向について意見交換がされた。

(3) 第 51 回：2025 年 12 月 22 日（月）13 時 00 分～16 時 00 分（オンライン）

第 51 回幹事会は、2025 年度の第 3 回品質確認制度運用委員会との合同会議として開催した。BDF の品質や燃料規格に関する検討の他、今後の他団体との連携のあり方について議論した。また、2025 年度後半の事業については、視察見学会の開催について合意された。

(4) 第 52 回：2026 年 3 月 10 日（火）10 時 00 分～12 時 00 分（オンライン）

第 52 回幹事会は、2026 年度に向けて新設の委員会発足と委員選定について審議がなされた。また協議会の規約等の改正についても議論されたが、規約改正については継続審議となった。

3 監査

2024 年度会計監査を 5 月 9 日(金)及び、5 月 20 日(火)にそれぞれオンラインで実施した。監査結果については、第 20 回総会にて監査報告を行った。

4 専門委員会

(1) 企画実行委員会

2025 年度は委員会開催には至らなかった。

(2) 品質確認制度運用委員会

2025 年度の分析機関と費用が設定されたことにより、4 月 2 日(水)から分析受付を開始し、協議会規格（全項目）5 件、モニタリング規格 33 件、特定項目の分析 5 件の依頼があった。FAME の分析結果で、特段大きな問題点は見受けられなかった。2025 年度の特徴としては、モニタリング規格の分析依頼が急増（前年比 13 件増）したことが挙げられる。

また 2024 年度より、分析結果が協議会の規格に合致していない場合や、技術的な相談の希望者には、専門家からのアドバイスが受けられ、製造方法の見直しや分析結果によるフィードバックができる体制を構築したところ、多くの相談があり、技術的な相談窓口の強化によって会員サービスが多様化した。

その他、「バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン」については、2022 年度に大幅改正を行い、2023 年度にも一部改正をしたことから、2025 年度においても、継続してガイドラインの周知や PR をするとともに、本委員会を設置し、燃料の品質や規格に関する様々な検討事項に対応した。

①第 1 回品質確認制度運用委員会（オンライン）

日 時：2025 年 6 月 10 日（火）15 時 00 分～17 時 00 分

第 1 回委員会は、国の動向の他、燃料の品質や規格に関する情報整理を行い、後述する資源エネルギー庁「高濃度バイオディーゼルの導入推進に向けた検討委員会」への対応のほか、2025 年度に本委員会に対応すべき事項について検討した。

②第 2 回品質確認制度運用委員会（オンライン）

日 時：8 月 29 日(金) 9 時 00 分～12 時 00 分（オンライン）

第 2 回委員会は、第 50 回幹事会との合同会議として開催した。BDF の品質や燃料規格に関する検討の他、軽油引取税の暫定税率廃止の動向について意見交換がされた。

③第 3 回品質確認制度運用委員会（オンライン）

日 時：2025 年 12 月 22 日（月）13 時 00 分～16 時 00 分（オンライン）

第 3 回委員会は、第 51 回幹事会との合同会議として開催した。BDF の品質や燃料規格に関する検討がされた。

（3）用途拡大委員会

2025 年度は委員会開催には至らなかった。

5 調査・行事等

（1）バイオディーゼル燃料取組実態等調査の実施

2025 年 8 月～12 月にかけて、バイオディーゼル燃料に取り組んでいる事業者(会員以外を含む)を対象に、2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の取組実績について調査を実施し、129 事業者から回答を得た。集計した結果、バイオディーゼル燃料の製造量は、前年から約 1,000kL 増加していた。

取りまとめた本調査の結果は、農林水産省及び資源エネルギー庁へ提出した。

（2）「バイオディーゼルに係る軽油引取税関係困難事例」調査の実施

資源エネルギー庁からの依頼により「バイオディーゼルに係る軽油引取税関係困難事例」を収集及び取りまとめし、資源エネルギー庁へ提出した。

（3）講演会

6 月 26 日(木)の総会の後に、対面とオンラインのハイブリッドで講演会を開催し、

会場参加は 105 名、オンライン参加は 62 名であった。講演会プログラムは下記のように実施した。また、講演会終了後は同会場にて立食形式の交流会を開催した。

①講演 テーマ：「ダイセキ環境ソリューションの取り組みとバイオディーゼル燃料の膜分離精製方法」

講 師：株式会社ダイセキ環境ソリューション 資源循環事業部
専門部長 水野 雅庸 氏

②講演 テーマ：「廃食用油の最新市況及び業界の取組について」

講 師：全国油脂事業協同組合連合会 事務局長 塩見 正人 氏

③講演 テーマ：「物流事業者へのバイオ燃料利用・普及に向けた取り組み」

講 師：NX 商事株式会社 営業本部 エネルギーソリューション
担当部長 栗山 修平 氏

④講演 テーマ：「バイオディーゼルに関する国内外の動向について」

講 師：経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部
燃料供給基盤整備課 課長補佐 木藤 康弘 氏

（３）セミナー及び勉強会

2025 年度は、BDF 協議会主催のセミナー及び勉強会については開催しなかった。

（４）意見交換会

他団体との意見交換会については、11/12 に全国油脂事業協同組合連合会の幹部の方々と BDF 協議会の副会長・幹事・事務局にて情報交換会を行った。廃食用油の適正利用について意見交換したほか、既存の利用先である飼料向け、工業向けを確保しながら、未利用の廃食用油をいかに回収・利用できるかという観点からも情報交換を行った。

（５）視察見学会の開催

視察見学会を 3/13(金)に、株式会社ダイセキ及び株式会社ダイセキ環境ソリューションの協力を得て、同社の愛知工場のプラントにて、参加者 33 名、事務局 2 名の合計 35 名の参加者があった。プラントの見学の他、質疑や交流も活発に行われた。

6 その他

（１）企業・自治体・国からの発表・講演の依頼への対応

2025 年度は BDF 協議会への発表・講演の依頼が数件あり、以下の他者からの発表・講演等の依頼については事務局で対応した。

5/29 購買燃料 CO2 算出スキーム 実務者協議会（株式会社リバスタ主催）

1/13 国土交通省港湾局「バイオディーゼル燃料に関する技術研究会」

2/12 川崎市「船舶燃料脱炭素セミナー」

3/23 東京都脱炭素燃料活用における事業化促進支援事業（N X 商事株式会社主催）

3/31 TansoMiru 燃料 WEB セミナー（株式会社リバスタ主催）

上記の講演対応以外に、第 1 回リム情報開発主催「リム・エネルギー・アゴラ」(11/12)におけるパネルディスカッションでは、BDF 協議会として青山副会長が登壇した。

（２）経済産業省 資源エネルギー庁 「高濃度バイオディーゼルの導入推進に向けた検討委員会」へ参加

資源エネルギー庁「高濃度バイオディーゼルの導入推進に向けた検討委員会」が 2025 年度に設置され、BDF 協議会としては青山副会長を委員として登録し、計 4 回の委員会に出席及び資料提供等の情報提供を行った（7/25,10/1,12/24,3/3 開催）。本委員会では、BDF 協議会の他、日本建設機械工業会、日本陸用内燃機関協会、日本産業車両協会、日本農業機械工業会、日本建設業連合会、日本建設機械レンタル協会、石油連盟、関係省庁等も参加され、オフロードにおける FAME の高濃度利用推進のため、B20 等の規格策定に向けた検討や市場形成に係る課題整理等が議論された。

（３）ホームページの運用等

協議会のホームページ内に 2022 年度から「活用事例集」のページを設けており、メールニュースで配信している取組事例紹介を、ホームページ上でも公開している。その他、ホームページを通じて各種情報発信を行った。

（４）相談室業務等

バイオディーゼル燃料化事業の円滑な普及・発展を図るため、本協議会に設置した相談室への問い合わせの電話、メール相談や面談等に対応した。

2024 年度から、高度な技術相談に対応できるよう専門家と顧問契約し、技術的な相談窓口を強化した。内容としては、会員か非会員かに関わらず、バイオディーゼル燃料に関する様々な相談があり、一例として、需給関係、法令関係、技術的課題、実証事業、J-クレジットの活用方法、市場予測、品質管理、CO₂削減効果等多岐にわたる相談があった。

専門家に対応いただいた相談は 39 件、それ以外に事務局で対応した相談は 22 件であった。

（５）情報の発信（メールニュース・事例紹介）

毎月１回程度、会員向けのメールニュースを発信し、バイオディーゼル燃料に関する最新情報や、会員の取組事例を紹介した。

- ・メールニュース：４/２、４/２５、５/９、５/２６、７/１５、８/１５、８/２０、９/１０、１０/６、１１/１４、１２/１５、１/９、２/２５、２/２７、３/１０、（臨時ニュース含む）
- ・事例紹介（No.28～No.32）
- ・協議会の公式インスタグラムアカウントを不定期に更新した。